

(中国乙12)
細菌性・アメーバ性赤痢
発生推移
= 2025年8月度 =

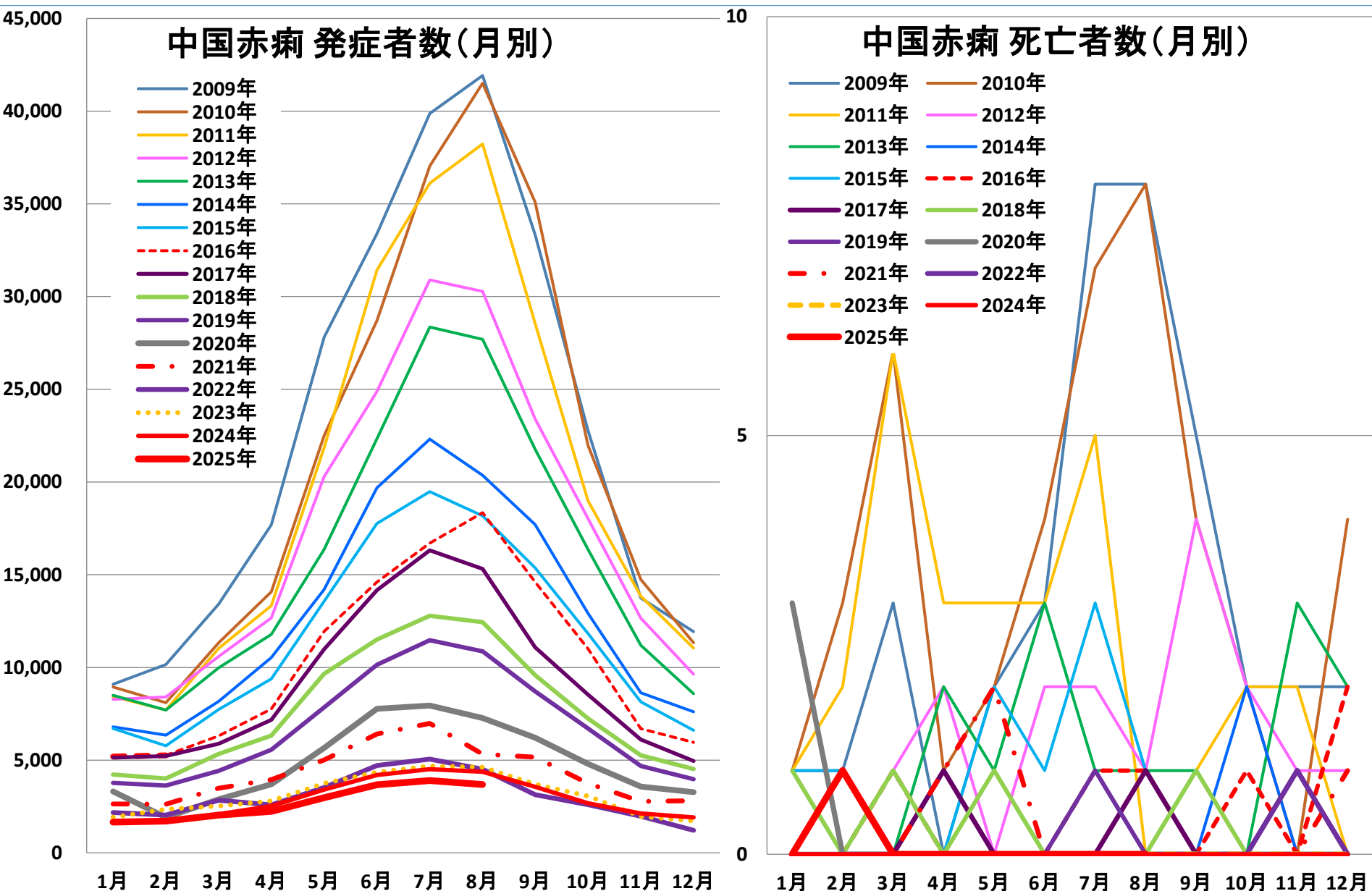
発表: 2025年9月5日 国家NDPCA

作成: 2025年9月9日
日中医療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

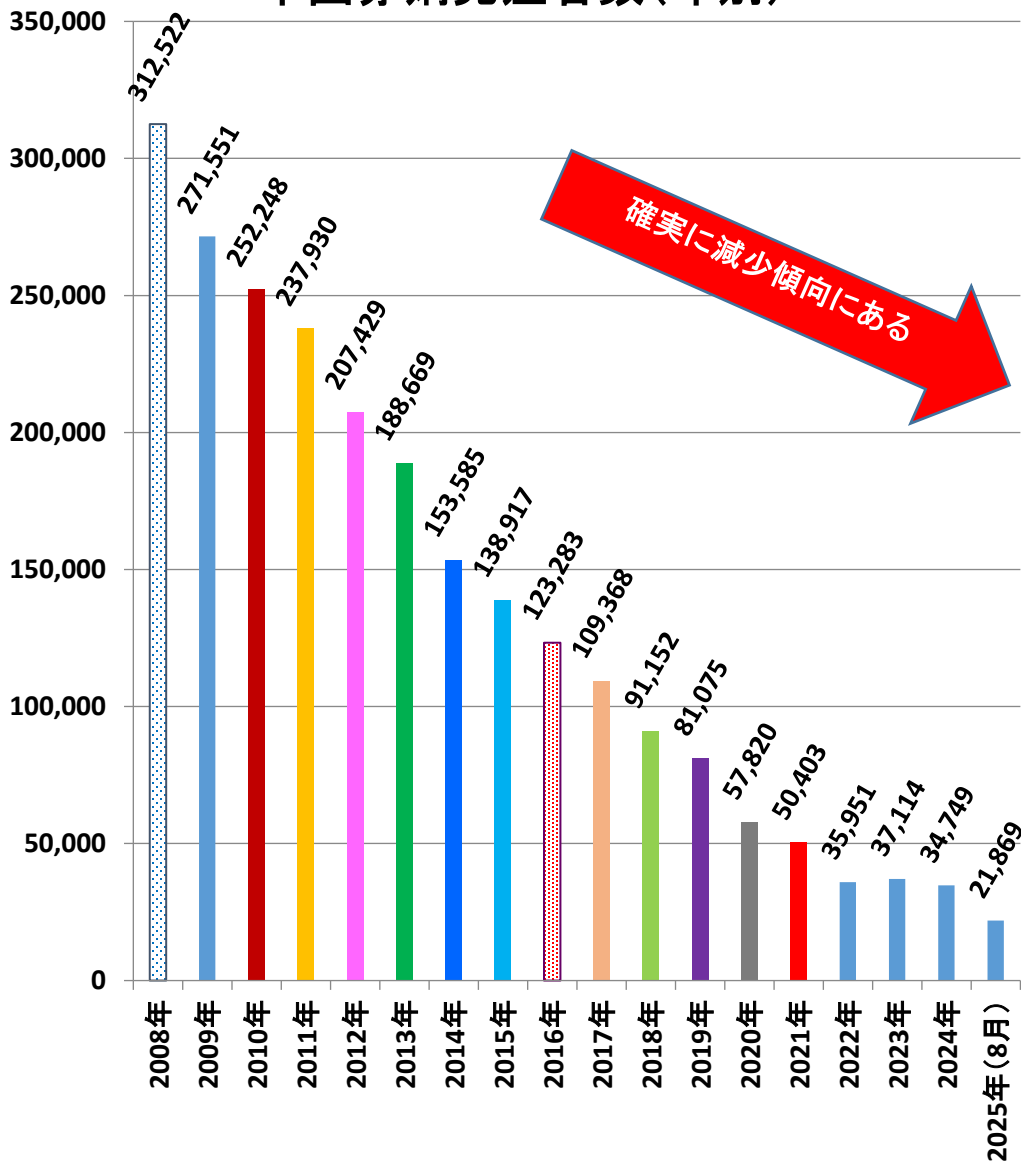
- 患者発生のパーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で
月間発症者数の『過去最低記録』を更新。その後、
2021年5月からまた過去最低記録更新始まり減少傾向に
2015年は138,917例、2016年 123,283例、
2017年109,368例、2018年 91,152例、
2019年 81,075例、
2020年 57,820例（**コロナの影響？**）
2021年 50,403例、2022年 35,951例、
2023年 37,114例、2024年は 34,749例（速報ベース）

乙12：細菌性・アメーバ性赤痢



乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

中国赤痢発症者数(年別)



中国赤痢 死亡者数(年別)

